

## 「出会いは学び」

「出会いは学び」この言葉は、教員になって間もない頃、ある先生にいただきました。それから20数年ずっと職員室のデスクの引き出しに忍ばせて、共に教員人生を歩んできました。

私が、特別支援学校の教員を目指したきっかけは、高校生の時に特別支援学校(当時は養護学校)の見学の機会をいただいたことです。見学の予定でしたが、校長先生は「見学だけでは面白くない」と、小学部の遊びの授業に参加させてくださいました。その時一緒に遊んだ児童は、言葉でのやりとりはできませんでしたが、何か思いが通じる瞬間があり、今まで感じたことのない喜びや幸福感を感じたことをよく覚えています。その時の感覚が忘れられず、特別支援学校の教員になりたいと思いました。

教員になってからは、毎日子ども達の素直な感情表現や力一杯活動する姿から無限の可能性に気付かされたり、パワーをもらったりして、笑顔が絶えない日々を過ごさせていただいています。もちろん上手いかず悩むことも多いですが、子ども達とじっくり関わり、一人ひとりの「できた！」瞬間の笑顔に出会えることができる当職は、私自身の考えや人生感も豊かにしてくれる魅力的な仕事だと感じています。教員という仕事は、勉強すればする程、悩み続ける程、子ども達との距離が近づき、子ども達の成長につながる事が、喜びや活力となります。

今まで出会えた子ども達、保護者の方、同僚の先生方、地域の方等、たくさんの方々との出会いの中で、様々な感情や経験をもらって学ばせていただけてきました。これからも、謙虚に教えてもらいながら学び続けていきたいと思っています。